

まちの日記帳



公共事業の早期完成に向けて 松井町長・町議員が7つの機関に要望活動!

1/15-16

松井町長及び岩本議長外7名が今後の公共施設の整備にあたり、北海道をはじめ後志支庁、小樽土木現業所、小樽土木現業所余市出張所、北海道開発局、小樽開発建設部、小樽漁港事務所の7つの機関を訪ね要望活動が行われました。

要望活動では積丹町を取りまく厳しい状況を訴え、「美国漁港海岸環境整備事業」、「第1種日司漁港整備事業」、「二級河川美国川河川改修事業」、「第3種美国漁港の整備促進」の基本的な考え方を説明し理解を求めるとともに、これらの事業に係る予算の増額確保により、早期完成が実現できるよう強く要望が行われました。



ジュニアスキー教室を開催しました スキーの上達は基本から!

1/17

町教育委員会が主催するスキー教室が開かれ、スキー連盟から8名の講師の指導のもと行われました。

雪が少なく開催も危ぶまれたスキー教室でしたが、小学1年生から3年生まで34人の児童が参加し、中には初めてスキーを経験する初心者の児童もあり、子ども達の熱心な思いと、講師の丁寧な指導により教室が終わる頃には、少しずつ滑れるようになっていました。



離乳食教室を開催しました 楽しく学び、健やかな成長の願いを込めて

1/27

妊娠期から1歳未満の子どもがいる家族を対象に離乳食教室が文化センターで行われました。この教室は、離乳食の作り方が知りたいという母親の希望が実り、合わせて妊娠期や子どもが乳児期の時に、離乳食の学習を通じて、成人期の健康的な食生活を学ぶ機会にしたいということで始まりました。

教室には3組6名が参加し、離乳食の基本の説明や「すりつぶし」の実習や試食が行われました。参加者からは「今後の離乳食づくりに役立てることができ」という感想が聞かれ、また母親同士の交流の場にもなっていました。



2/6・7 冬の積丹町を札幌でPR

ニセコヒラフで外国人観光客に利き酒でPR 2/8

2月6日(金)・7日(土)、さっぽろ雪まつり期間中に道内観光地をPRするイベントが開かれました。

このイベントは(社)北海道観光振興機構(坂本真一会長)が企画したもので、積丹町は6日、観光協会、岬の湯しゃこたん、観光振興公社の職員6名が道内外の観光客に向けてJR札幌駅西口で積丹観光のPRを行いました。「岬の湯しゃこたん」と「どっこい積丹冬の陣」ののぼりを掲げ、正午からの30分間に観光パンフレット、岬の湯しゃこたん・水中展望船のパンフレットと鮭トバをセットにしたものを200部を配布したところ、観光客の中に自ら進んで受け取る人がいるなど、開始15分ですべてが無くなる人気ぶりでした。

翌日はサッポロビール園主催の、体が温まる「鍋」として積丹のホッケを使った「生のり入り積丹ホッケすりみ汁」を大鍋で作るイベントが開かれることに合わせて、来園者に観光パンフレットを手渡しました。

また、8日(日)にはニセコ町のヒラフで外国人観光客に向けて観光パンフレットと「積丹」と手書きしたミニ扇子のセットを200部配り、合わせて「丹水」の無料試飲も行いました。この日は雪が降る寒い日となり「フリードリンク」(無料で飲める)と熱燗にした「丹水」を差し出すと「グット!」と大変好評でした。

観光協会では「冬の積丹にも足を運んで頂き、次の夏につなげて行けるよう、いろいろアイデアを考え取り組んでいきたい」と話していました。



◀ 2/6
JR札幌駅
西口でPR

▶ 2/7
サッポロビ
ール園でPR



▲ 2/8 ニセコヒラフで外国人観光客へPR

「2009しゃこたん夢あかり」
町内はキャンドルで幻想的な風景に!

2/14

今年で6回目となる町商工会(青年部、女性部)主催の「2009しゃこたん夢あかり」がスノーキャンドルで町を明るくしようを合い言葉に、2月14日行われました。参加者の家の玄関前には趣向を凝らした雪像や雪壁が作られ、午後5時の合図とともに、一斉にキャンドルへ火が灯り、町は幻想的な明かりに包まれていました。

また、美国町中央交差点のメイン会場では、町商工会女性部が、甘酒を無料で提供したほか、同会青年部が特設テントを設け、ビールやザンギ、おでんなどの飲食物を販売し用意した200人分は完食となる盛況ぶりでした。

